

鏡川流域パートナーシップだより No.114 R6.2.9



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

講座受講生が人のつながりを生む。「Feel 度 Walk」を日曜市で開催しました！

2月4日(日)、鏡川流域関係人口講座3期生の藤澤佑介さんが、鏡川流域の産物が集まる日曜市で「**Feel度Walk**※」を開催しました！

※地域を歩いて気になったものを撮影し、参加者同士でスケッチして共有することで、観察力などの
感度(Feel度)を高める効果が期待されている活動。描いたスケッチを「スケッチ知図」と呼ぶ。

★ 藤澤さんから当日のレポートをいただきました！

「かがみがわフェスタ」の一環として企画した今回のイベントは、講座2期生の企画「**まちのコインらうんじ**※」とタイアップ。

※日曜市で講座受講生が鏡川流域の特産品の販売や活動紹介などを行う企画

おかげさまで、日曜市の区画をお借りし、撮った写真をもとに描いた「スケッチ知図」を日曜市に飾ってアートギャラリーにしてしまうという夢のようなことができていました！



まず、友人が運営するKochi Startup BASEを使ってオリエンテーション！大人から子どもまで20名ぐらいが集まりました。



日曜市を散策！好奇心をくすぐるものばかり。



日曜市で撮影した写真をスケッチし、みんなで共有。「不思議なつながりが立ち上がってくる感じが楽しかった！誰かの「ワクワクの発見」が別の人の発見と共鳴して、ワクワクが増幅される感じがあるんです。



ふらっと「まちのコインらうんじ」を訪れ、土佐山ジンジャーエールを飲みながらスケッチをする親子の姿も！



「スケッチ知図」を、日曜市の「まちのコインらうんじ」に展示！手作り感満載な感じが日曜市の雰囲気とぴったり！



noteでも情報発信中！



もっと自然の中で遊び、学びたい欲求が高まっていたところ、「かがみがわフェスタ」を紹介してもらい、飛び込んでみたら、そこにいた人たちがもう本当に素敵で。一連の講座を受講する中で、川・山・人につながり、気が付いたら自分の中で新しいエコシステムが息づいていました。

今回のイベントはこのエコシステムから生み出されたものです。この複雑に重なりあったエコシステムを構成しているヒト・モノ・コトに感謝の気持ちを向けつつ、継続的なものとして育んでいきたいです。



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょっどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android